南花台スマートエイジング・シティ団地再生モデル事業（咲っく南花台）／UR 南花台団地 DIY プロジェクト

今回地域住民と大学生協働で改修した DIY モデルルーム

#大学連携型地域再編
#まちづくり
#DIY

＼ DATA ／

- **主な連携先・メンバー**
  河内長野市／独立行政法人都市再生機構西日本支社（UR 都市機構）／地域住民／一般社団法人カンデ　他
- **活動地域**
  大阪府河内長野市南花台
- **活動期間**
  2014 年度～継続中（UR 南花台団地 DIY プロジェクトは 2023 年度～）
- **活動資金**
  河内長野市受託研究／ UR 都市機構 DIY モデルルームプロジェクト事業

目　的

「自分らしく、自由に、自然とくらす。学べる DIY＆コミュニティ」をコンセプトに、DIY モデルルームをつくり、若年層の移住機運を高めることを目的とする。

連携にいたる経緯

急速な少子高齢化が進む南花台地域では、関西大学団地再編プロジェクトでの取組みを契機に「スマートエイジング・シティ」のモデル団地として位置づけられ、大学連携地域再編プロジェクトが進んでいる。2023 年度、入居促進と新たなコミュニティ形成を目的として、市・大学・UR が連携し UR 南花台 DIY プロジェクトがスタートした。

活動内容

「自分らしく、自由に、自然とくらす。学べる DIY& コミュニティ」をコンセプトに、特に若年層が南花台に住みたくなるような機運を高めるため、UR 南花台団地で UR 賃貸住宅の DIY 住宅制度を用いた、南花台らしい暮らしがイメージできるモデルルームづくり（2 住戸）を実施した。改修住戸選定の段階から、地域住民を巻き込み、学生を中心に検討した DIY 改修提案を地域住民や建築の専門家に向けてプレゼンし、そこで得た多角的な意見を反映させ、実際の改修現場でも、試行錯誤を繰り返しながら DIY でモデルルームづくりの作業を進めた。大学連携型の UR 団地での住戸改修は様々なエリアで行われているが、DIY でかつ地域住民も作業に参加して実施している点が新しく、あくまで「実際に制度を活用したい人が真似できる簡易な手法での DIY」という制約の中で改修を進め、改修の様子を地域内広報誌や WEB 記事で発信したり、改修プロセスをオープンにし、周囲の関心を高めた。完成した 2 住戸には、現在多くの方が内覧に訪れている。

押入れの中も
丁寧に塗装した

DIYは試行錯誤の連続だった

畳の入れ替えや襖の張り替えを
行いイメージを一新した

活動の成果

- 学生・地域住民との新たなコミュニティの形成。
- 多様な媒体による南花台地域の魅力発信。
- 多世代コミュニティ創出による新たな地域内活動に対する住民意識の向上。

今後の課題・目標・展開の可能性

- DIYモデルルームを活用した入居促進イベントでの既存プロジェクトとの横の連携。
- おおさか河内材活用に向けた森林組合や近隣施設との連携。
- 近隣教育施設との連携によるものづくりコミュニティ形成。

環境都市工学部 教授　大影　佳史 Okage Yoshifumi

専門は環境デザイン・建築計画／設計
建築空間、屋外公共空間や都市景観など人間の生活環境を対象に、調査／分析に基づく研究（理論）から計画／設計（実践）まで。近年ではプレーパーク（冒険遊び場）など子どもの遊び環境にも携わる。

先端科学技術推進機構 客員研究員　関谷　大志朗 Sekiya Taishiro

関西大学環境都市工学部建築学科卒、同大学院修了。卒業後は大学や行政、地域住民など様々な団体との協働による地域再生活動に取り組み、現在は河内長野市南花台を主たるフィールドとし、地域再生・団地再編に取り組む。一般社団法人カンデ所属。